

四日市市立羽津中学校



＜所在地＞

〒512-0012 四日市市羽津甲 26

TEL 059-330-0048

1 本校の概要について

本校は昨年度より読書活動推進校に指定されている。学校づくりビジョンには「将来に希望を持ち、やる気を持って実践する生徒の育成～本と歌声とありがとうがいっぱいの学校～」を掲げており、学校図書館を中心に読書活動の推進を行っている。毎朝 10 分間の朝読書を導入しており、どの学年も静かな状態で本を読む時間を確保している。

2 今年度の取り組みにおける柱

取り組みをしていくにあたり、今年度の活動の柱を決めた。それは、「すべての学校図書館でできる取り組みを目指すこと」と「環境整備に重点を置くこと」である。昨年度はイベントの開催や生徒の集客方法に力を入れた取り組みを行い、貸出冊数を増やすことに成功した。

一方で、これらの取り組みは労力を要するものであり、他校が本校の実践を取り入れる際に、ハードルが高いと感じやすい内容であったと振り返る。

そのため、今年度は他校でも実践を取り入れやすい内容に注力し、四日市市全体の読書活動に寄与できるような活動を心掛けた。

3 読書活動の推進について

(1) 本との出合わせ方の工夫

本との出合わせ方は一番重要で、良い出会い方ができれば、自然と本を好きになり、図書室に足を運ぶようになる。本校で工夫した部分は「表紙が見えるようにすること」であった。机の上に並べたり、本棚の本もいくつかの本を表紙が見えるように置いたりした。実際、見栄えもよく、目を引くようになるので、効果があるように感じた。

(2) 環境整備の工夫

学校図書館は「魅力的な場所」であることが理想であるとする。特に中学校においては、学校図書館は昼休みにしか行けない特別な場所である。しかし、立地条件等により足を運びづらい場所になっているため、生徒をひきつける「魅力」が必要である。本校ではその魅力を「本によって迎えられる、扉を開ければすぐに本が見える」場所にする事で引き出し、本との「良い出会い方」を演出している。



4 授業での学校図書館の活用

すべての学年において学校図書館司書による「#（ハッシュタグ）で伝える推し本」という授業を実施した。本の内容を3つの#で表し、相手に魅力を伝えるという活動であった。班の中で一番良い#をつけられていた本を選び、全体に紹介することも行い、学校図書館の活用に加え、言語活動にもつながる授業実践をしていただくことができた。

5 思考力・判断力・表現力を高める読書活動

本校では、1 学期末と 2 学期末に全員が 1 分間スピーチに取り組んでいる。文章の多寡や巧拙はあるが、自分で考えて伝えようとしている。

また、学年が上がるごとに上達し、スピーチの中で聞き手を意識し、ポイントを絞って話をするようになってきている。

6 成果と課題

イベントの開催がほぼ無かったにも関わらず、すべての学年で貸出冊数が増加し、環境整備をしたことの効果が数字に表れた。

一方、開館時間が短い、学年が上がるにつれて図書室が遠くなり、貸出冊数が減少するといった課題が見られた。来年度以降取り組みたい。